

きらめく  
まちビト

×

伊野 愛子



東京都杉並区から職員派遣として名寄市の施策事業などを学びに来ている伊野愛子さん。本市に住んで思うことやこれからの活動などをインタビューしました。

これからは「ひまわり」が見ごろ。名寄には観光資源がたくさんありますね。

名寄市の第一印象は

思っていたより「都会」です。とても生活がしやすい。都市部しか住んだことが無く、自動車免許を持っていますが運転はしてないので、居住に少し不便なことを予想していましたが、全くそんなことはなかったです。商店街もあり、スーパーも点在し、買い物も不自由なく、何より病院が近くにあるということはとても安心できます。

杉並はどんな街ですか

若者から大人まで楽しめる街です。文化的な面で成熟していて各駅で魅力が異なっています。例えば、高円寺は音楽、阿佐ヶ谷ではジャズ、荻窪ではラーメンとクラシック、西荻窪はアンティークといった特色があり、多様な人々を受け入れる街です。それについて、東京のなかでも住宅都市で、繁華街だけでなく生活の基盤も整っている、暮らしやすい方かと思っています。

名寄のいいと思うところは

スノーボードを趣味でやっているの、「雪質日本一」の冬スポーツを楽しみたいです。また、今までは雪が身近にあ

る生活をしたことがないので

通勤前の除雪ですとか、真夜中に作業する除雪車などを見てみたいです。道路だけがきれいに除雪されて、側面がずつと雪の壁のような世界も味わってみたいです。一方で、東京より子育てがしやすい街だと思います。というのは、緑が身近であり豊富であることや、ひまわりらんどやサンピラー交流館など、若いお母さん方が気軽に集まれる場所も多い。この時期では、庭先でバーベキューを楽しまれるご家庭を多く見えますが、東京ではありえないことです。生活の質を考えたら、東京より名寄の方がはるかに豊かなんだと実感しています。

杉並区ではどんな仕事を

主に観光業務で「アニメ」施策を担当していました。杉並アニメーションミュージアムの運営管理などです。そもそも杉並区は、日本で一番アニメ制作会社が集積している地区でもあります。これを地場産業とし「アニメ」を観光資源として、隣接する区とも協力しあい地域構築しながら、その情報発信やイベント開催などを手掛けていました。

名寄市ではどんな業務を

同じく観光業務を行っていますが、内容は全く別なので勉強させてもらっています。今でいうと「ひまわり」です。サンピラーパークや智恵文などおおよそ8月中旬が見ごろです。是非ご家族で見に来てください。

名寄市民へひとこと

※詳しくは2、3ページのひまわり特集をご覧ください。名寄の街に来てうれしいですし、この地で関わるすべての人が優しくしてくれるので、感謝の気持ちでいっぱい。この派遣を大事に、名寄の観光をもっと勉強して、名寄の魅力を発信し、移住促進や観光客誘客の一助を担いたいです。

Profile

伊野 愛子 (いの あいこ)

昭和57年9月生まれ。大阪府松原市出身。大学時代に住んでいた杉並区高円寺の、阿波踊りや音楽など文化振興に力を入れるまちづくり施策に惹かれ、採用試験を受けたところ見事合格。杉並区職員として活動し、今年度交換派遣職員として名寄市に勤務している。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。